

平成 31 年駒ヶ根市教育委員会第 4 回定例会

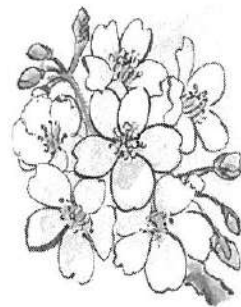
平成 31 年 3 月 26 日（火）14 時 00 分～
駒ヶ根市役所保健センター2 階大会議室

- 1 開 会 時 分
- 2 教育長報告 P 1
- 3 事業報告及び事業計画 P 5
・定例教育委員会 4 月 22 日（月）14 時 00 分～ 保健センター 2 階大会議室
- 4 審議案件
議案第 1 号 駒ヶ根市青少年育成委員の委嘱について P 7
議案第 2 号 駒ヶ根市スポーツ推進委員の委嘱について P 9
議案第 3 号 学校評議員の委嘱について P 1 0
議案第 4 号 学校運営協議会委員の任命について P 1 1
議案第 5 号 駒ヶ根市教育委員会事務局関係職員人事異動について P 1 5
- 5 協議事項
（1）保育料の納入状況等について P 1 8
（2）学校給食費の納入状況等について P 1 9
- 6 報告事項
（1）平成 3 1 年度公益財団法人駒ヶ根市給食財団の事業計画及び予算について…… 別冊
（2）平成 3 1 年度公益財団法人駒ヶ根市文化財団の事業計画及び予算について…… 別冊
（3）学力向上について 別冊
（4）子ども課年間事業計画（年暦）について 別紙
（5）行事共催等承認申請の専決処分について P 2 0
- 7 その他
（1）平成 3 1 年度市内小・中学校入学者数について P 2 1
- 8 閉 会 時 分

草餅を 頬張りしとき 目が含ひぬ（星野立子）

雪が溶け、土手に緑色が目立つようになってきました。それまでは、白と茶色だけの肌寒い景色だったものが、心がウキウキし何か燃え立つような気分になります。併せて、別れと出会いが交錯するのがこの季節です。

季節の移り変わりを身の回りの自然から感じ取ることは、今に始まったことではなく、子どもたちにとって大変重要なことです。春という季節こそ、命の芽吹きを直に感じることものできるいい機会ではないでしょうか。

**◆最近のようす****♥卒業式の一コマ**

東中（3/15）天気快晴なれど、やや寒し

春がすぐそこまでとは言うものの、会場はジェットヒーターが欠かせない寒さでした。ステージバックには、新聞にも掲載された卒業制作が見事に花開いていた中で厳かに始まりました。

- ・送辞代表が「高い目標と志を持った先輩は、東中の彩りであり、私たちの手本だった。道標だった。私たちも伝統を高めることに精一杯努めたい。どんなときも前を向いて歩んでいきたい」
- ・答辞代表「3年前、不安と希望を抱いてこの場に立った。その後、友と支え合い、助け合う内に、希望は大きく、不安は小さくなった。3年生の時が一番濃い。瞬いた桑東祭。仲間と乗り越えた部活動。支えてくれた先生、友人、家族、地域の人がいたからこそ。先輩として慕ってくれて感謝。これからは自分の足で一步一步道を開いていきます。人のことを自分のことのように思ってくれた仲間、日々、景色、支え愛の言葉を忘れない」

※短い言葉の中に双方の思いが詰まった掛け合いとなったことに、感激しました。卒業生の自信と決意に満ちた表情が印象的な、爽やかな卒業式でした。

♥高校生による保育園での読み聞かせ

3/19 赤穂高校ボランティア委員会の3名の生徒さんが、美須津保育園の年長さんに読み聞かせをしてくれました。3人ともやや緊張気味でしたが、園児に会うと、ほっとした表情になり、読み聞かせモードに切り替わりました。動物のお話が多かったのですが、園児が高校生を食い入るように見つめている姿はなんとも言えず微笑ましいものでした。ときどき、園児が新しい場面に「お～」と反応したり、高校生の質問に「ねずみさんのお風呂」と反応したりすると、高校生も「うん、そうだね」などと受け答えをしながら読み進める一幕もありました。3人が10分ずつ30分間、続けて読むのを、園児は実に真剣にはまり込んで聞いていたのが印象的でした。

「ぜひ今後も続けたいのですがいいでしょうか」「できれば1週間に1度くらい」等と園長先生に依頼する顧問の表情も充実していました。

高校生の読み聞かせは実に落ち着いたもので、特に「間」がうまくとれていたのには感心しました。これをきっかけにいい形では続けば面白くなるぞ…」と参観した私も手応えを感じました。高校生も園児と同じに「楽しかったです」とはにかんでいたことが何よりでした。

♥中学生の受賞作文 (後掲)

(1) **外務大臣賞(東中3年佐々木創)** 受賞報告会が、3/20 市長応接室で行われた。

ネパール交流事業に参加した率直な感想を文にしたため、中央に評価された者である。37000 点の中から、最高の最優秀賞を獲得した。

『信号機』という題名の作文は、支援の根本的なあり方を中学生の鋭い感性で看取ったものであった。開発途上国だから何かしてあげなきゃという、現地の実態を無視した押しつけ支援であってはならないのではないか。使われていない信号機を目の当たりにした素直な感想である。寄付行為が現地で継続できるようなシステムになっていないと意味が無いことも分かったようである。中学生だからこそ、感じ得た素晴らしい作文であった。

彼の将来の夢は、目や耳等に障害のある人の代わりになる物を工学的な面からメスを入れ、開発し貢献したいということであった。具体的には、VR(仮想現実)とAR(拡張現実)を大事にしながら、ゴーグルを掛けることで対応できる等、考えているらしい。

日頃から好奇心や問題意識を持って生活しているようで、過去にもJAXAへ訪問したり、三重県伊勢市まで自転車旅行をしたりと大変行動的な面を持っている。素晴らしい生き方であると感心するとともに、作文の受賞も領けた次第。



(2) **関東信越国税局長賞(赤中2年高倉空翔)**『一人の手から国境を越えた町造りへ』

◆これからの教育 これからの子育て

自分を愛せるようになったとき、親の徳は生まれる

「高橋亜美」(アフターケア相談所「ゆずりは」所長)

- ♥今は情報や知識がすぐに手に入る時代で、親はこうあるべき、家族はこうあるべきという「こうあるべき論」がどんどん先行している。
- ♥「子どものために」と口にしながら、じつは自分の不安を取り除こうとしている。それがうまくいかなかったり、周りの価値観について行けなかったりすると、恐怖や不安に襲われて子どもに手を挙げてしまう。
- ♥まず親の心を解放するのが、どんな支援よりも先である。
- ♥私たちは、みんなと一緒になくちゃいけないわけではないし、そんな考えにしがみつ়く必要は全くない。

世の母親だけを責めるわけにはいかない。世の中全体が、「こうあるべき論」に惑わされることなく、会社には社風が、学校には校風があるように、家庭での家風を大事にして揺るぎない子育てをほしい。また、地域も市も安心して子育てできる環境づくりを構築しなければならない。

《ちょっと立ち止まって》「内から育つ」姿を求めて※最近の教育関係の様子、新聞、駒ヶ根の子どもの様子、資料

○人間は一生のうち逢うべき人に必ず逢える。しかも、一瞬早すぎず、一瞬遅すぎないときに。

(森信三…哲学者)



一年間お世話になりました。新年度もよろしくお願いします。

外務大臣賞

信号機

駒ヶ根市立東中学校 3年

佐々木 創

「ネパール人の生活には合わなかった。」

その言葉を聞いた時私は少し納得した。しかし私の中に疑問が生まれた。

私は今年一月に市の中学生海外派遣国際交流事業に参加し、ネパールへ研修に行かせて頂きました。ネパールの首都カトマンズとボカラを訪問し、日本との違いやネパール人のあたたかさを感じることができました。

研修中、カトマンズ市街をバスで移動している時に使われていない信号機をたくさん見かけました。最初の数基はただの故障だと思って見ていましたが通った道のほとんどの信号機が使われていなかったの、これは故障ではないとわかりました。しかしなぜこんなにたくさんの信号機が使われていないのだろう。ととても不思議に思い職員の方に聞いてみました。すると「日本や外国から寄付されたけど、ネパールでは停電が多かったり、規制が十分では無かったという事や信号機が古く、まとめて管理できない等の理由でネパール人の生活には合わなかったみたいだ。」と教えて下さいました。

私は説明を聞いて信号機が使われていない理由について納得しました。しかし新たな疑問が生まれました。「なぜ使われる事も無いのにこんなにたくさん寄付されたのだろう。」そんなことを考えていた時、青年海外協力隊活動状況学習がありました。

協力隊員のお話を聞いている中で「アフリカで起きた蚊帳の寄付から始まった現地の悪循環」についての話がありました。悪循環とは外国から蚊帳の寄付によって現地の蚊帳職人がいなくなってしまう壊れた蚊帳を直すことができなくなってしまう。という話でした。この話を聞いて私は衝撃を受けました。

似たようなことがネパールでも起きていると思いました。今は使われていないだけの信号機ですがこの先処分しなければなりません。しかし寄付された物を処分するためにお金を使っているのはネパールにとってデメリットの方が大きくなってしまいます。私たちは兎角「寄付は良いこと」と考えがちですが全ての寄付が必ずしも良いとは限らないのだと知りました。

寄付するという行為は良い事だし大切な事だと思いますが、本当に必要なのは現地で何が必要とされているかを知り、現地の生活や経済に悪影響をあたえてしまわないかを考えて現地のニーズに合った物を贈る事だと感じました。

私の中には今もネパールで感じた事が残っています。これからもその事を胸に刻み、自分が出来ることは何かを今までより少し深く考えながら生活していきたいです。

「二人の手から国境を超えた町造りへ」

駒ヶ根市立赤穂中学校二年 高倉空翔

税金は諸刃の剣なのかもしれない。社会の一員である大人の人達が納めた税が、他の人にとって都合の悪い形で使われてしまうことがある。一方で、一円の税金にも一人の笑顔を生み出す力がある。

僕の親が今まで税金のことを僕に教えてくれたりしてくれたことは無い。きっと多くの人がそうなのだと思う。この作文を書くにあたって、まずは税金のことを理解することから始めた。その中で自分とは一見何の関連もない事業にも、また、僕にも手が届く所にも税金が用いられていることを知った。

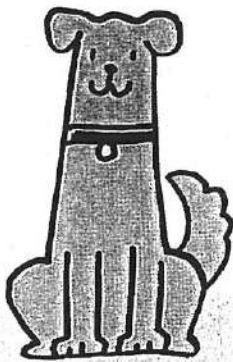
僕は夏休み中に平和記念式典へ、市、学校の代表として参加させていただくことになっている。広島への交通費、宿泊費、見学科、全てが税金で賄われている。僕のような、普通の中学生に対して、社会人の皆さんが納税した税が使われることもあるのだな、と少し驚いた。だからこそその税を無駄にせず有意義に使いたいと考えている。なのでしっかりと自分の身で体感、経験して平和について学んできた。実際こんなにも自分の周りに多額の税が使われ、人の為になっていることを実感できる。平和記念式典では人と人との交流及び戦争の事実を風化させないために税が使われているが、「交流」の為に税が使われていることは多くあると思う。

その一つだが青年海外協力隊の活動やネパールとの国際交流では

ないだろうか。一人の手から納められた税が日本から遥か数千キロも離れている他国の為に、他国の人の笑顔につながっていると思うと、とてもそれが壮大なことに感じる。交流の為に税を使用するということは、交流をして、税で人を助けることなのだと僕は思う。僕もいつか立派に納税できて、国の一員として社会に貢献できる大人になりたいと思っている。そのために今は納税された人々の善意をありがたく受け取り、人として、学生として成長していきたい。

誰かがそこに橋をかけたとする。もちろん国の税金による負担で。そこには毎日多くの自動車が行き通るようになりとても便利になった。だがその一方で橋の下で暮らす人達は昼夜関係なく騒音が聞こえるようになり、迷惑した。このように税は必ずしも人が、皆が喜ぶことに使われているとは限らない。そこがまだ課題になってしまっているのかな、と思う時がある。

税は、善いのか悪いのか。その答えは分からない。答えは無いのかもしれない。ただ僕は、人助けのツールとして、社会人の義務として、善いものだと思っている。いつか僕が納税をするその日が少し楽しみだ。なぜならそれは僕が国の一員として登録され、多くの人、物、国を支える「税」という柱になれるからだ。



駒ヶ根市青少年育成委員の委嘱について

駒ヶ根市青少年育成センター設置要綱（昭和 56 年教育委員会告示第 19 号）第 4 条の規定により、下記の者を駒ヶ根市青少年育成委員に委嘱する。

平成 31 年 3 月 26 日

駒ヶ根市教育委員会

教育長 本 多 俊 夫

記

- | | |
|---------|---|
| 1 氏 名 等 | 別 紙 |
| 2 委嘱年月日 | 平成 31 年 4 月 1 日 |
| 3 任 期 | 平成 30 年 4 月 1 日から平成 32 年(2020 年) 3 月 31 日まで
(任期は前任者残任期間) |

平成31年度 駒ヶ根市青少年育成委員名簿

		地 区	氏 名	自治組合	在任 期間	備 考
1	1	南 割	○ 尾形 和子	第3－2	3	
	2		代田 卓生	第2－2	2	
2	3	中 割	○ 筒井 貞子	柏神	4	
	4		杉山 哲也	南方	2	
3	5	北割2	○ 木下 岳士	下の坊2	2	
	6		神林 美幸	塩木	①	
4	7	北割1	○ 齋藤 真一	大手	2	
	8		金田 朗子	北原	①	
5	9	小町屋	○ 松井 良文	上市場	2	
	10		山岸 弘子	南部	①	
6	11	福 岡	○ 渋谷 博光	第2	8	
	12		松原 博人	第5	①	
	13		成瀬 かおり	第1	2	
	14		古樫 紀子	第3	2	
7	15	市場割	○ 竹村 茂	宮の前	2	
	16		気賀澤 智徳	中通り	①	
8	17	上赤須	○ 原 克彦	第1	2	
	18		吉瀬 とよ子	第5	2	
9	19	下 平	○ 浅井 和彦	島赤須(11)	2	
	20		中原 誠志	小屋(4)	2	
10	21	町 1	○ 小林 諭	第5	2	
	22		宮澤 有花	第2	①	
11	23	町 2	○ 鈴木 博志	第6	①	
	24		栗村 尚明	第7	①	
	25		大島 伸也	第8	①	
12	26	町 3	○ 松崎 茂	飯坂3	4	
	27		雨澤 隆明	中央	4	
13	28	町 4	○ 熊谷 篤司	第1	6	
	29		金山 久美子	第5	①	
14	30	上穂町	○ 倉田 昌伸	第5	2	
	31		小池 美穂	第2	①	
15	32	中 沢	○ 竹村 定男	中曽倉	6	
	33		宮脇 三広	原	2	
16	34	東伊那	○ 宮脇 深志	栗林	2	

(1)任期：平成30年4月1日～平成32年(2020年)3月31日

(2)氏名欄の○印：地区代表委員

(3)在任期間欄の①：平成31年度に新任となる委員

※名簿の取り扱いにご注意ください。

(議案第 2 号)

駒ヶ根市スポーツ推進委員の委嘱について

スポーツ基本法（平成 23 年法律第 78 号）第 32 条並びに駒ヶ根市スポーツ推進委員規則（昭和 38 年教育委員会規則第 2 号）第 3 条及び第 4 条の規定により、下記の者を駒ヶ根市スポーツ推進委員に委嘱する。

平成 31 年 3 月 26 日

駒ヶ根市教育委員会

教育長 本多 俊夫

記

1 駒ヶ根市スポーツ推進委員

氏 名	住 所	備 考
梅澤 正春	駒ヶ根市赤穂	
刈間 さえみ	駒ヶ根市下平	
野溝 修	駒ヶ根市中沢	中沢体協推薦
福澤 美保	駒ヶ根市赤穂	
鈴木 啓治	駒ヶ根市東伊那	東伊那体協推薦
米山 聡	駒ヶ根市梨の木	
小池 眞利子	駒ヶ根市東伊那	東伊那体協推薦
福澤 智也	駒ヶ根市下平	
春日 善文	駒ヶ根市中沢	中沢体協推薦
氣賀澤 和人	駒ヶ根市赤穂	

2 委嘱年月日 平成 31 年 4 月 1 日

3 任 期 平成 31 年（2019 年）4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

学校評議員の委嘱について

駒ヶ根市立小・中学校、幼稚園管理規則第 20 条の 3 の規定に基づき、学校評議員として下記のとおり委嘱するものとする。

平成 31 年 3 月 26 日
駒ヶ根市教育委員会
教育長 本多 俊夫

記

1 氏 名 等

学 校 名	氏 名	住 所 等	備 考
赤 穂 中 学 校	窪 田 雅 則	駒ヶ根市東町	赤穂学校同窓会副会長
	堀 内 豊 彦	駒ヶ根市赤穂	不登校傾向生徒支援リーダー
	伊 藤 俊 子	駒ヶ根市上穂栄町 1 6 - 1 2 (赤穂保育園)	園長
	武 田 忠	駒ヶ根市赤穂	前年度 P T A 会長
	山 岸 和 夫	駒ヶ根市赤穂 1 4 - 2 (駒ヶ根工業高等学校)	教頭
	宮 下 正 彦	駒ヶ根市赤須東	非違行為防止委員長 (元 P T A 会長)
東 中 学 校	新 井 幸 徳	駒ヶ根市東伊那	東伊那公民館長
	福 澤 さ ゆ り	駒ヶ根市東伊那	東伊那主任児童委員
	北 澤 隆	駒ヶ根市下平	元 P T A 会長
	佐 野 榮	駒ヶ根市経塚	赤穂主任児童委員
	久 保 田 之 義	駒ヶ根市中沢	中沢公民館長
	草 野 淑 子	駒ヶ根市中沢	中沢主任児童委員

2 委嘱年月日 平成 31 年 4 月 1 日

3 任 期 2019 年（平成 31 年）4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで

駒ヶ根市立赤穂東小学校学校運営協議会委員の任命について

駒ヶ根市学校運営協議会規則(平成 25 年教育委員会規則第 3 号)第 7 条の規定に基づき、
下記の者を赤穂東小学校学校運営協議会委員に任命する。

平成 31 年 3 月 26 日
駒ヶ根市教育委員会
教育長 本多 俊夫

記

1 氏 名 等

氏 名	住 所	備 考
小林 四郎	駒ヶ根市飯坂	会長
佐野 榮	駒ヶ根市経塚	副会長
佐藤 和樹	駒ヶ根市下平	副会長
北林 美恵子	駒ヶ根市下平	副会長
伊藤 道夫	駒ヶ根市下平	町 2 区区長
林 光夫	駒ヶ根市飯坂	町 3 区区長
竹村 守	駒ヶ根市北町	町 4 区区長
福澤 一郎	駒ヶ根市下平	下平区区長
小出 勇	駒ヶ根市下平	元学校評議員
田中 久夫	駒ヶ根市下平	元学校評議員
池口 美紀子	駒ヶ根市下平	元学校評議員
村上 崇子	駒ヶ根市中央	元学校評議員
小出 ちせ子	駒ヶ根市飯坂	民生児童委員
川端 康聖	駒ヶ根市下平	P T A 会長
武井 鮎美	駒ヶ根市飯坂	学校支援ボランティア代表
植木 行雄	駒ヶ根市東町	学校支援ボランティア代表
榎本 繁樹	駒ヶ根市飯坂	学校支援ボランティア代表
堀 勝福	駒ヶ根市赤穂	学校支援ボランティア代表
吉川 大吉	駒ヶ根市飯坂	学校支援ボランティア代表
片桐 健	駒ヶ根市立赤穂東小学校	校長

2 任命年月日 平成 31 年 4 月 1 日

3 任 期 2019 年(平成 31 年) 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで

駒ヶ根市立赤穂南小学校学校運営協議会委員の任命について

駒ヶ根市学校運営協議会規則(平成 25 年教育委員会規則第 3 号)第 7 条の規定に基づき、
下記の者を赤穂南小学校学校運営協議会委員に任命する。

平成 31 年 3 月 26 日
駒ヶ根市教育委員会
教育長 本多 俊夫

記

1 氏 名 等

氏 名	住 所	備 考
渋谷 博光	駒ヶ根市赤穂	元福岡区長
山口 潮	駒ヶ根市赤穂	元 P T A 会長
小林 敏夫	駒ヶ根市赤穂	市議会議員
小平 政博	駒ヶ根市赤穂	南割区長
西村 功	駒ヶ根市赤穂	福岡区長
清水 亀千代	駒ヶ根市赤穂	市場割区長
小松原 清	駒ヶ根市赤穂	上赤須区長
吉瀬 修	駒ヶ根市中沢	吉瀬自治組合長
氣賀澤 葉子	駒ヶ根市赤穂	市議会議員・ボランティア代表
北澤 洋	駒ヶ根市赤穂	初代 P T A 会長・ボランティア代表
竹上 勝利	駒ヶ根市赤穂	元南割区長・ボランティア代表
大林 博	駒ヶ根市赤穂	ボランティア代表
下平 邦宏	駒ヶ根市赤穂	ボランティア代表
浦上 利昭	駒ヶ根市赤穂	ボランティア代表
伊東 主税	駒ヶ根市赤穂	P T A 会長
鈴木 泉	駒ヶ根市赤穂	P T A 副会長
有賀 多恵子	駒ヶ根市赤穂	P T A 副会長
大槻 久	駒ヶ根市立赤穂南小学校	校長

2 任命年月日 平成 31 年 4 月 1 日

3 任 期 2019 年(平成 31 年) 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで

駒ヶ根市立中沢小学校学校運営協議会委員の任命について

駒ヶ根市学校運営協議会規則(平成 25 年教育委員会規則第 3 号)第 7 条の規定に基づき、下記の者を中沢小学校学校運営協議会委員に任命する。

平成 31 年 3 月 26 日
駒ヶ根市教育委員会
教育長 本多 俊夫

記

1 氏 名 等

氏 名	住 所	備 考
佐久間 暲	駒ヶ根市中沢	同窓会歴代会長
所河 清文	駒ヶ根市中沢	同窓会長
坂井 昌平	駒ヶ根市中沢	区長
竹村 雅章	駒ヶ根市中沢	民生児童委員会長
草野 淑子	駒ヶ根市中沢	主任児童委員
堀内 英樹	駒ヶ根市中沢	中学校保護者
寺平 昌文	駒ヶ根市中沢	保育園保護者
鈴木 天章	駒ヶ根市中沢	保護司
久保田 之義	駒ヶ根市中沢	公民館長
湯澤 英喜	駒ヶ根市中沢	夢倶楽部代表
木下 君子	駒ヶ根市中沢	谷あい代表
竹村 徳典	駒ヶ根市中沢	元区長
竹村 定男	駒ヶ根市中沢	育成会長
林 寛道	駒ヶ根市中沢	P T A 会長
上村 俊幸	駒ヶ根市中沢	P T A 副会長
潮田 裕美	駒ヶ根市中沢	P T A 副会長
酒井 直彦	駒ヶ根市立中沢小学校	校長
中村 豊	駒ヶ根市立中沢小学校	教頭
清水 貴美子	駒ヶ根市立中沢小学校	教諭（教務主任）
中島 滋子	駒ヶ根市立中沢小学校	教諭（地域担当）

2 任命年月日 平成 31 年 4 月 1 日

3 任 期 2019 年（平成 31 年）4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで

駒ヶ根市立東伊那小学校学校運営協議会委員の任命について

駒ヶ根市学校運営協議会規則(平成 25 年教育委員会規則第 3 号)第 7 条の規定に基づき、
下記の者を東伊那小学校学校運営協議会委員に任命する。

平成 31 年 3 月 26 日
駒ヶ根市教育委員会
教育長 本多 俊夫

記

1 氏 名 等

氏 名	住 所	備 考
林 省史	駒ヶ根市東伊那	東伊那区区長
福澤 正富	駒ヶ根市東伊那	東伊那区副区長
新井 幸徳	東伊那公民館	東伊那公民館長
下平 朋彦	東伊那支所	東伊那支所長
福澤 さゆり	駒ヶ根市東伊那	主任児童委員
石川 博康	駒ヶ根市東伊那	P T A 会長
木下 務	駒ヶ根市東伊那	P T A 副会長
小椋 恵子	駒ヶ根市東伊那	P T A 副会長
坂井 たつ子	駒ヶ根市東伊那	社会教育委員
小木曾 哲夫	駒ヶ根市東伊那	学識経験者
村上 守伸	駒ヶ根市東伊那	学識経験者
赤羽 ふみ子	駒ヶ根市東伊那	学識経験者
大沼 宗重	駒ヶ根市東伊那	学識経験者
新井 正子	駒ヶ根市東伊那	学識経験者
福澤 惣一	駒ヶ根市東伊那	学識経験者
滝沢 好雄	駒ヶ根市東伊那	学識経験者
滝沢 修身	駒ヶ根市東伊那	学識経験者
堀内 克敏	駒ヶ根市立東伊那小学校	校長
曾我 利恵子	駒ヶ根市立東伊那小学校	教頭
荻原 実	駒ヶ根市立東伊那小学校	教務主任

2 任命年月日 平成 31 年 4 月 1 日

3 任 期 2019 年(平成 31 年) 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで

駒ヶ根市教育委員会事務局関係職員の人事異動について

平成 3 1 年 4 月 1 日付け駒ヶ根市教育委員会事務局関係職員の人事異動を、別紙のとおり発令する。

平成 3 1 年 3 月 2 6 日

駒ヶ根市教育委員会
教育長 本 多 俊 夫

記

1 氏 名 等 別 紙

2 発令年月日 平成 3 1 年 4 月 1 日

平成 30 年度 2 月分保育料徴収実績表

駒ヶ根市教育委員会 子ども課

平成 31 年 3 月 1 日 現在

(単位：円)

区分	項 目	予 算 額		調 定 額		収 入 額 等			徴 収 率		前年度調定額		前年同期収入済額		予算執行率 (C/A %)
		(A)	当月	累計 (B)	当月収入額	累計収入額 (C)	不納欠損額	収入未済額	現年分 (C/B %)	前年同期 (%)	比較 (point)	前年度同期	前年同期 (D)	比較 (C/D %)	
保 育 園	保育所運営費 負担金(公立分)	137,777,000	10,698,600	120,489,250	10,683,530	119,063,070		1,426,180	98.82%	99.15%	▲ 0.33	120,158,620	119,133,680	99.94%	86.42%
	保育所運営費 負担金(私立分)	41,541,000	3,422,990	38,401,750	3,421,930	37,663,650		738,100	98.08%	98.52%	▲ 0.44	35,339,580	34,815,960	108.18%	90.67%
	長時間保育料	4,572,000	339,550	3,634,600	3,634,600	3,549,450		85,150	97.66%	97.99%	▲ 0.33	3,749,720	3,674,370	98.60%	77.63%
	保育所運営費 負担金他市町村分	3,036,000	0	0	0	0		0	—	—	—		0	—	0.00%
	現 年 度 分 小 計	186,926,000	14,461,140	162,525,600	17,740,060	160,276,170		2,249,430	98.62%	98.98%	▲ 0.36	159,247,920	157,624,010	101.68%	85.74%
幼 稚 園	過 年 度 分 (滞納繰越分)														
	保 育 園 分 計	661,000	0	2,969,190	107,650	734,190		2,235,000	24.73%	28.63%	▲ 3.90	3,482,444	996,954	73.64%	111.07%
	小 計	187,587,000	14,461,140	165,494,790	17,847,710	161,010,360	0	4,484,430	97.29%	97.47%	▲ 0.18	162,730,364	158,620,964	101.51%	85.83%
幼 稚 園	保育料現年度分	19,594,000	1,455,700	16,443,450	1,444,250	16,314,150		129,300	99.21%	99.51%	▲ 0.30	16,879,140	16,796,540	97.13%	83.26%
	長時間保育料	122,000	5,800	48,400	5,800	48,400		0	100.00%	94.28%	5.72	108,450	102,250	47.33%	39.67%
	過 年 度 分 (滞納繰越分)	105,000	0	883,310	0	30,000		853,310	3.40%	6.33%	▲ 2.93	948,310	60,000	50.00%	28.57%
	幼 稚 園 分 計	19,821,000	1,461,500	17,375,160	1,450,050	16,392,550	0	982,610	94.34%	94.55%	▲ 0.21	17,935,900	16,956,790	96.66%	82.70%
	小 計														
幼 保 計	現 年 度 分 計	206,642,000	15,922,640	179,017,450	19,190,110	176,638,720		2,378,730	98.67%	99.03%	▲ 0.36	176,235,510	174,522,800	101.21%	85.48%
	過 年 度 分 (滞納繰越分) 計	766,000	0	3,852,500	107,650	764,190		3,088,310	19.84%	23.85%	▲ 4.01	4,430,754	1,056,954	72.30%	99.76%
	合 計	207,408,000	15,922,640	182,869,950	19,297,760	177,402,910	0	5,467,040	97.01%	97.18%	▲ 0.17	180,666,264	175,579,754	101.04%	85.53%

平成30年度学校給食費収納状況

平成31年1月（9期分）

H31.2.28 締め

○赤穂学校給食センター

	年度	調定金額	収納金額	不納欠損額	滞納額	収納率	滞納者数
現年度分	29年度	126,352,955	124,133,075	0	2,219,880	98.24%	101
	30年度	118,058,912	115,879,556	0	2,179,356	98.15%	105
	前年対比	-8,294,043	-8,253,519	0	-40,524	-0.09	4

	年度	調定金額	収納金額	不納欠損額	滞納額	収納率	滞納者数
過年度分	29年度	7,396,541	1,457,142	0	5,939,399	19.70%	42
	30年度	7,460,775	779,501	0	6,681,274	10.45%	55
	前年対比	64,234	-677,641	0	741,875	-9.25	13

	年度	調定金額	収納金額	不納欠損額	滞納額	収納率	滞納者数
現・過合計	29年度	133,749,496	125,590,217	0	8,159,279	93.90%	123
	30年度	125,519,687	116,659,057	0	8,860,630	92.94%	136
	前年対比	-8,229,809	-8,931,160	0	701,351	-0.96	13

○竜東学校給食センター

	年度	調定金額	収納金額	不納欠損額	滞納額	収納率	滞納者数
現年度分	29年度	25,765,029	25,393,185	0	371,844	98.56%	19
	30年度	24,415,868	24,117,218	0	298,650	98.78%	13
	前年対比	-1,349,161	-1,275,967	0	-73,194	0.22	-6

	年度	調定金額	収納金額	不納欠損額	滞納額	収納率	滞納者数
過年度分	29年度	666,952	123,395	0	543,557	18.50%	7
	30年度	530,532	48,549	0	481,983	9.15%	4
	前年対比	-136,420	-74,846	0	-61,574	-9.35	-3

	年度	調定金額	収納金額	不納欠損額	滞納額	収納率	滞納者数
現・過合計	29年度	26,431,981	25,516,580	0	915,401	96.54%	21
	30年度	24,946,400	24,165,767	0	780,633	96.87%	14
	前年対比	-1,485,581	-1,350,813	0	-134,768	0.33	-7

H31.3 定例教育委員会報告 行事共催等承認申請一覧(専決分報告)

区分	受付番号	行事の名称	団体名	開催日	開催場所	承認
後援	30-175	第27回スプリングコンサート	川上陽子ピアノ教室	平成31年4月29日(月)	駒ヶ根市文化会館 大ホール	承認
後援	30-176	第7回駒ヶ根市バレーボール交流大会in南信州(中学の部)	駒ヶ根市体育協会バレーボール部	平成31年3月24日(日)	市民体育館 外3会場	承認
後援	30-177	JA上伊那あぐりスクール	上伊那農業協同組合	平成31年4月20日(土)～平成31年12月21日(土)	JA上伊那本所及び伊那市東春近の圃場等	承認
後援	30-178	信州の森から海へ ～天竜川調査隊～	海と日本プロジェクトin長野県実行委員会	平成31年4月1日(月)～平成32年3月31日(火)	駒ヶ根市、伊那市、磐田市 外	承認
後援	30-179	「せせらぎ会」第31回ピアノ発表会	せせらぎ会	平成31年5月26日(日)	駒ヶ根総合文化センター 大ホール	承認
後援	30-180	カノラータ・オーケストラ 第18回定期演奏会	カノラータ・オーケストラ	平成31年8月4日(日)	岡谷市文化会館 大ホール	承認
後援	30-181	不登校教育フォーラム	学校法人日生学園 青山高等学校	平成31年6月9日(日)	飯田市地域交流センター(3階 会議室1・2)	承認
後援	30-182	平成31年度駒ヶ根市6人制バレーボール大会	駒ヶ根市体育協会バレーボール部	平成31年4月14日(日)	赤穂中学校体育館 社会体育館	承認
共催	30-183	ハッチョウトンボ棲息地整備作業	ハッチョウトンボを育む会	平成31年4月28日(日)	駒ヶ根市南割公園	承認
共催	30-184	ハッチョウトンボの観察会	ハッチョウトンボを育む会	2019年7月13日(土)～14日(日)	駒ヶ根市南割公園	承認
後援	30-185	SNOOアウトドアフェスティバル2019in駒ヶ根	南信州アウトドア協議会	平成31年5月18日(土)～19日(日)	駒ヶ根高原森と水のアウトドア体験広場	承認

共催 2 件
後援 9 件
協賛 0 件
11 件

承認 11 件
不承認 0 件
協議中 0 件
11 件